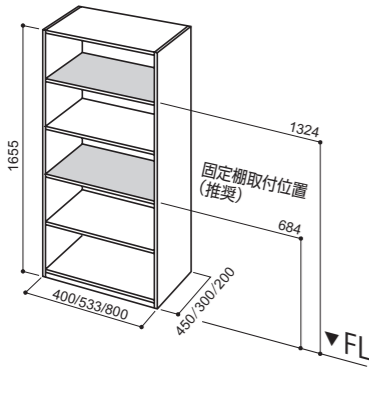


●組立完成図 ※施工方法について詳しくは、「MiSEL 総合施工説明書 (品番 FLJ773)」を参照してください。



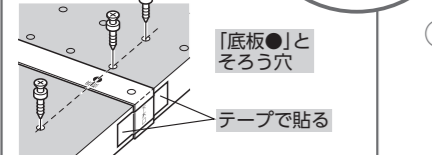
- 側板左右各1
- 裏板1
- 裏板補強棧 (縦)1 (2) ※ [] 内はW800の場合
- 上り裏板補強棧1
- 下り裏板補強棧1
- 天板1
- 底板1
- 前巾木1
- 後巾木1
- 固定棚2
- 自在棚2
- 巾木避けカバー4セット (1セット) ※ [] 内はD200用の場合
- 組立用ピン (天板・底板・固定棚)24 (16) ※ [] 内はD200用の場合
- 自在棚ダボ12 (8) ※ [] 内はD200用の場合
- 連結ビス・連結キャップ・連結ワッシャ (φ4用)6セット
- 壁固定ビス・連結キャップ・連結ワッシャ (φ4用)4セット
- 補強棧固定ビス5
- 接着剤1

1 ユニット本体の組立て

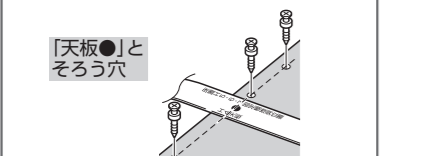
1 組立用ピンの取付け

下木口に組立定規を当て、組立用ピンをねじ込む。

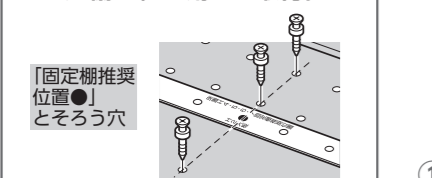
●底板の組立用ピン取付位置



●天板の組立用ピン取付位置



●固定棚の組立用ピン取付位置



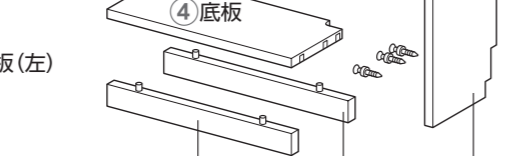
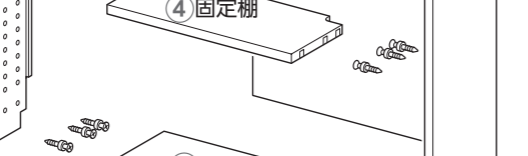
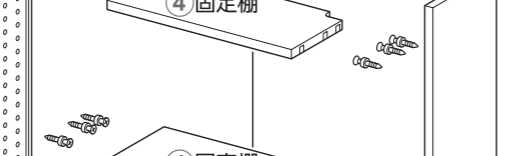
※固定棚位置は推奨位置です。条件を満たせば、使い勝手のよい位置に変更できます。(総合施工説明書参照)

3 接着剤の塗布

両側板に接着剤を確実に塗布する。

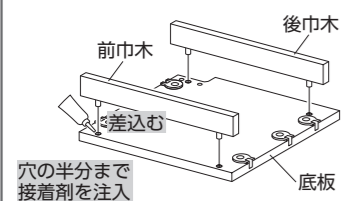


●天板の組立用ピン取付位置



①側板 (左) ②前巾木 ②後巾木 ⑥側板 (右)

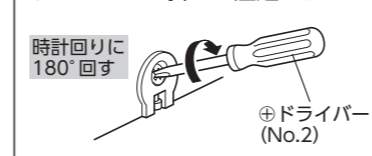
2 前巾木と後巾木の取付け



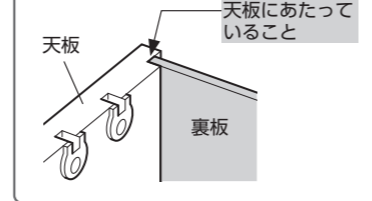
注 強い力でたたかない。ゴムハンマーを当てる。木片などを当てる。すき間をなくす。

4 天板・固定棚・底板の取付け

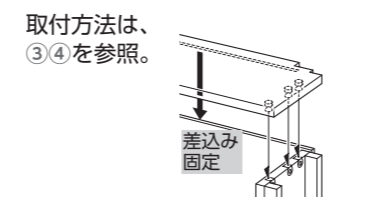
側板 (左) に取付ける。ドライバーは斜めに差込む。



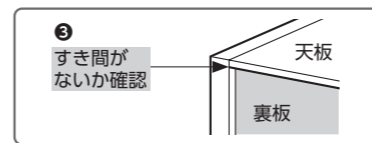
5 裏板の取付け



6 側板 (右) の取付け

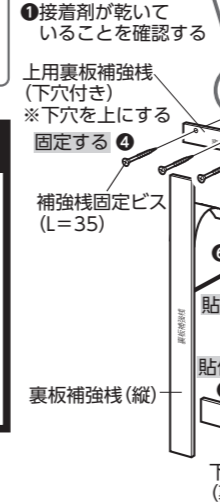


2 裏面補強棧の取付け



前巾木を持ってユニットを持ち上げないでください。前巾木が折れて破損、けがをするおそれがあります。

●W400/W533



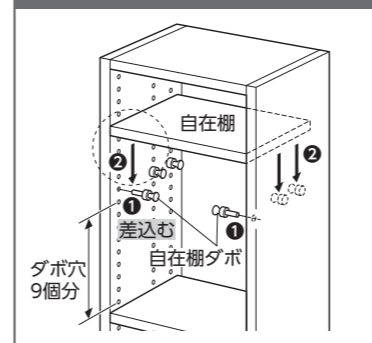
●W800



※オンボード工法の場合は「裏板補強棧」および「補強棧固定ビス」は使用しません。別梱包の「オンボード工法用裏板補強棧」を使用してください。

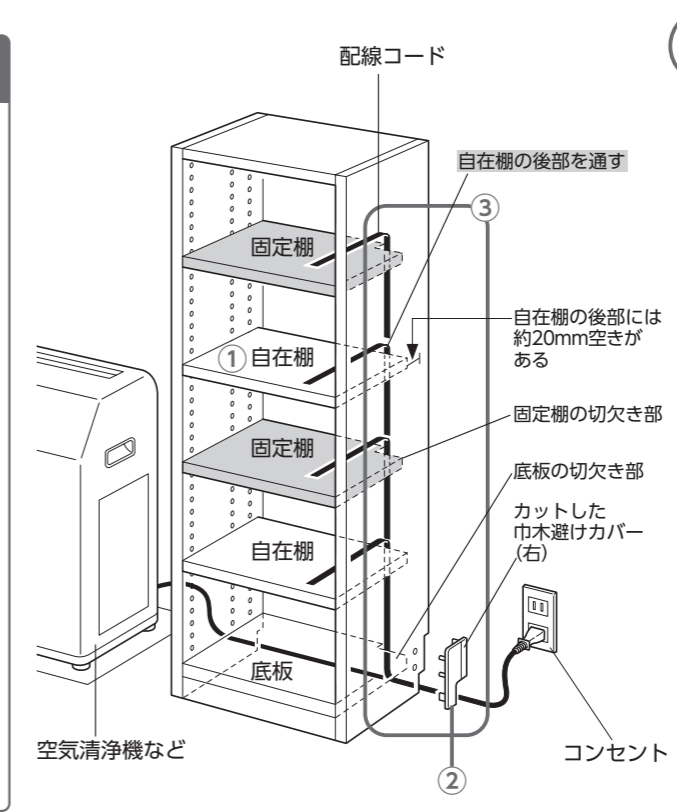
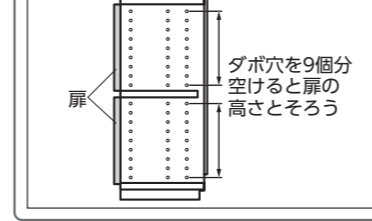
3 その他の部材の取付け・配線

1 自在棚の取付け



推奨位置ですので、上下に位置をずらしてもユニット強度に問題はありません。

扉を取付ける場合



3 配線のしかた

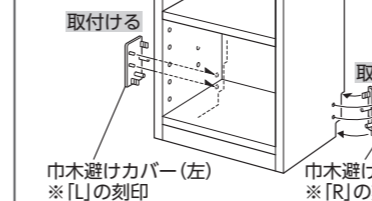
●巾木避けカバーを配線用にカットする
※図は巾木避けカバー (右) 「R」の刻印
配線用カット位置
破線に沿ってカットする

●底板以外で配線する
φ38 穴加工 (現場加工)
側板・裏板用配線キャップ

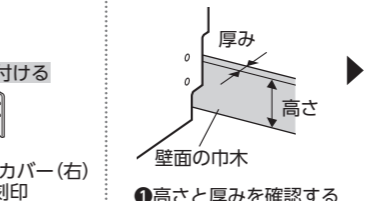
配線しない場合
巾木避けカバー (右) ※「R」の刻印
巾木避けカバー (左) ※「L」の刻印

2 巾木避けカバーの取付け

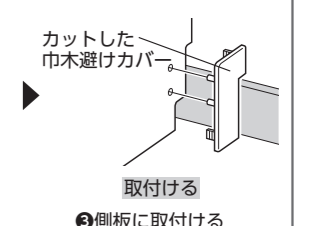
●壁面に巾木がない場合



●壁面に巾木がある場合



巾木の高さに合わせてカット
※対応高さ: 43mm以下または49~80mm
巾木の厚み7mmの場合
巾木の厚み9mmの場合
破線に沿ってカットする



施工方法の詳細と壁への固定方法については、「MiSEL 総合施工説明書 (品番 FLJ773)」を参照してください。